平　成　23　年　度

水 道 事 業 統 計 年 報

平成23年 4 月 1 日～平成24年 3 月31日

いわき市水道局

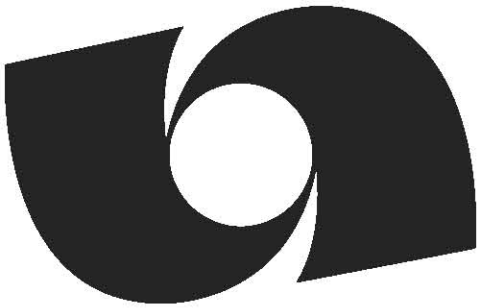
統計早見表

（平成24年3月31日現在）

項　　目	平成23年度	平成22年度	平成21年度
行政区域内人口 （人）	330,876	339,277	343,008
給水区域内人口 （人）	321,947	330,063	333,589
給水人口 （人）	320,910	328,941	332,402
給水区域内普及率 （%）	99.68	99.66	99.64
給水戸数 （戸）	123,675	124,839	129,707
給水件数 （件）	137,858	134,436	133,955
浄水施設 （箇所）	17	17	17
配水池 （基・池）	111・159	111・159	110・157
ポンプ場 （箇所・台）	87・195	86・193	85・191
年間配水量 （㎥）	46,332,251	43,637,934	43,770,022
一日平均配水量 （㎥）	126,591	119,556	119,918
年間有効水量 （㎥）	36,260,752	39,983,086	39,747,767
有効率 （%）	78.26	91.62	90.81
年間有収水量 （㎥）	35,153,015	38,790,664	38,558,406
有収率 （%）	75.87	88.89	88.09
導水管延長 （m）	16,700	16,700	16,673
送水管延長 （m）	21,997	21,979	21,979
配水管延長 （m）	2,165,224	2,163,223	2,152,659
●収益的収支(消費税抜き)			
収益的収入 （千円）	8,515,422	8,932,154	8,905,707
収益的支出 （千円）	8,165,681	7,341,440	7,157,113
●資本的収支(消費税込み)			
資本的収入 （千円）	679,372	1,005,406	1,336,002
資本的支出 （千円）	3,763,883	4,990,932	5,243,767
供給単価 （円）	211.65	217.73	217.87
給水原価 （円）	206.35	182.53	185.01
職員数 （人）	188(8) ※管理者及び嘱託職員(3人)含む。 ※()は内数で再任用短時間勤務職員数をあらわす。	194(8) ※管理者及び嘱託職員(1人)含む。 ※()は内数で再任用短時間勤務職員数をあらわす。	194(4) ※管理者及び嘱託職員(2人)含む。 ※()は内数で再任用短時間勤務職員数をあらわす。

平　成　23　年　度

水 道 事 業 統 計 年 報



市　　章

いわき市の頭文字「い」を図案化
したもので、本市の発展と融和団結、
円満、平和を表徴しています。
（昭和42年10月１日制定）

いわき市民憲章

わたくしたちいわき市民は、

1　元気で働き、豊かなまちをつくりましょう。

1　互いに助け合い、明るいまちをつくりましょう。

1　きまりを守り、住みよいまちをつくりましょう。

1　教養を高め、文化のまちをつくりましょう。

1　自然を愛し、緑のまちをつくりましょう。

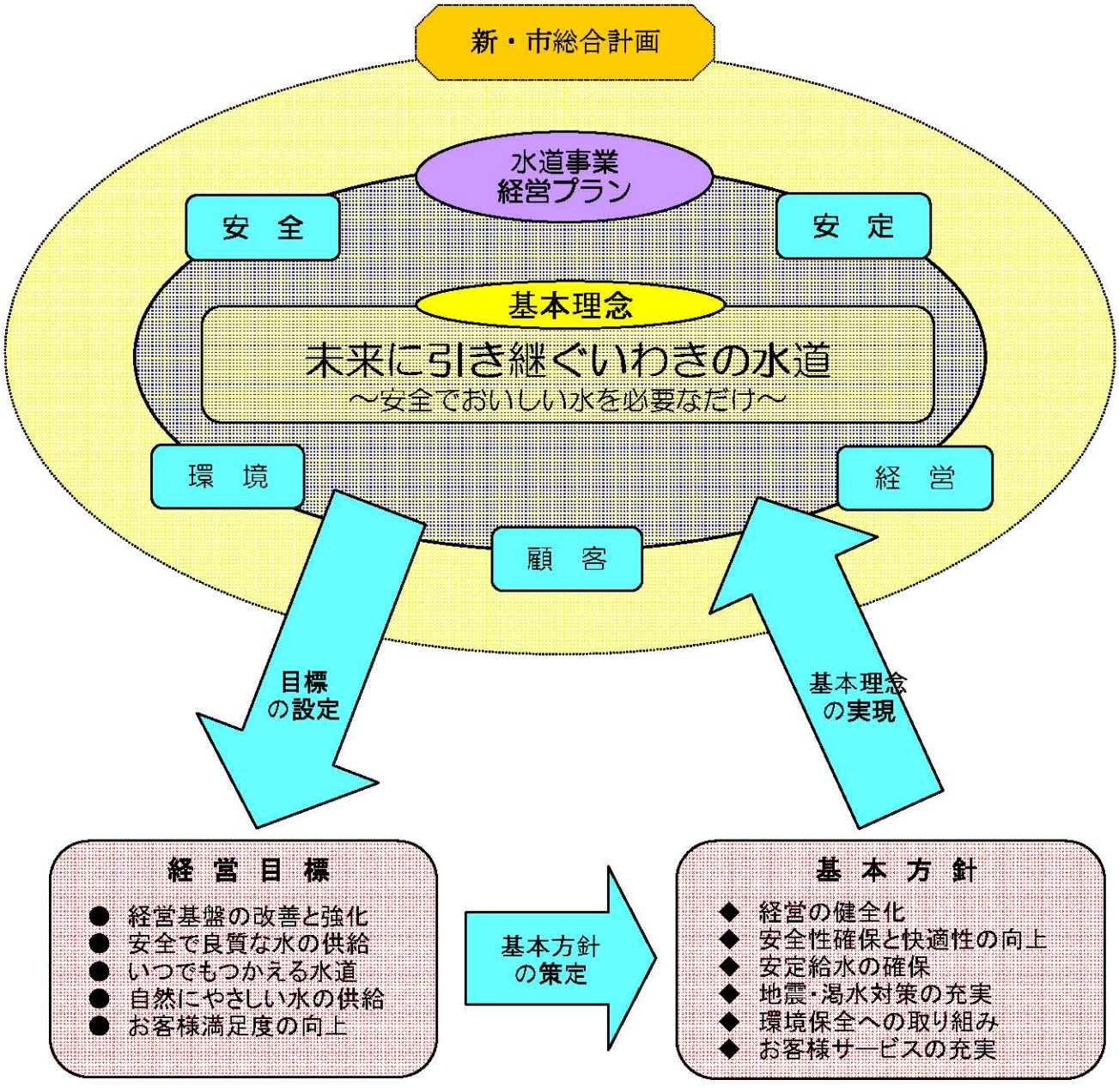
昭和51年10月1日制定

いわき市水道事業の経営の目標

本市では、「新・いわき市総合計画『ふるさと・いわき２１プラン』」において「循環を基調とした、持続可能なまち」「誰もが安全に、安心して暮らせるまち」「活力に満ち、創造力あふれるまち」を、地域づくりの方向としたまちづくりを展開しています。

これを踏まえ、本市水道事業を取り巻く諸課題等に適切に対応し、次世代に健全な姿で「水道」を引き継いでいくため、経営目標を「経営、安全、安定、環境、顧客」の視点で捉え、「未来に引き継ぐいわきの水道　～安全でおいしい水を必要なだけ～」を基本理念と定めました。

この理念を実現するため、５項目の経営目標を掲げ、今後の水道事業の取り組むべき具体的な方針として６項目の基本方針を策定しました。



平成23年度水道事業統計年報

目　　次

Ⅰ　事業の沿革と推移 ―― 1

1　いわき市の概況 ―― 3

2　水道事業の沿革 ―― 3

(1)　合併当時の水道事業 ―― 3

(2)　いわき市上水道の創設事業 ―― 4

(3)　専用水道統合事業 ―― 5

(4)　いわき市上水道第一期拡張事業 ―― 6

(5)　いわき市上水道第二期拡張事業 ―― 7

(6)　いわき市上水道第三期拡張事業 ―― 7

(7)　いわき市上水道第三期拡張事業軽微変更 ―― 8

〈参考〉　水道事業認可一覧 ―― 9

3　水道事業の推移 ―― 10

(ｸﾞﾗﾌ)　人口及び水量の推移 ―― 14

(付)　いわき市水道事業概況図 ―― 15

Ⅱ　機構及び職制 ―― 17

1　機　構 ―― 19

(1)　組織図 ―― 19

(2)　機構改革の推移 ―― 19

(3)　職員配置表 ―― 20

2　職　制 ―― 21

(1)　分掌事務 ―― 21

3　職員の給与に関する調 ―― 24

4　年齢及び勤続年数別職員構成 ―― 24

(1)　年齢別職員構成 ―― 24

(2)　勤続年数別職員構成 ―― 24

〈参考〉　平成24年度機構及び職制 ―― 25

(1)　組織図 ―― 25

(2)　職員配置表 ―― 26

(3)　年齢別職員構成 ―― 27

(4)　勤続年数別職員構成 ―― 27

Ⅲ　本年度の主なる事務事業 ―― 29

1　いわき市水道事業第三期拡張事業 ―― 31

(1)　事業概要 ―― 31

(2)　事業費及び財源 ―― 31

(3)　平成23年度事業内訳 ―― 32

2　第四次配水管整備事業 33
(1)　事業概要 33
(2)　事業費及び財源 33
(3)　平成23年度事業内訳 33
3　第五次配水管整備事業 34
(1)　事業概要 34
(2)　平成23年度事業内訳 34
4　東日本大震災による断水と復旧の経過 35
(1)　断水の状況 35
(2)　応急給水活動 35
(3)　応急復旧活動 36
(4)　水道施設等の被害状況 36
(5)　災害復旧に係る事業費と財源 37

Ⅳ　施　　設 39

1　取水施設 41
2　上水道施設 42
(1)　浄水施設 42
(2)　配水池 46
(3)　ポンプ場 54
3　簡易水道施設 62
(1)　浄水施設 63
(2)　配水池 66
(3)　ポンプ場 66
4　災害時応急給水施設 68
(1)　非常用地下貯水槽設置箇所 68
(2)　災害時用応急器材 69
5　配水管布設延長 70
6　口径別管種別管路布設延長 71
〈参考〉　いわき市水道水源保護地域 72

Ⅴ　取水・配水 73

1　取水量 75
2　薬品使用量 76
3　施設別配水量・使用電力量 77
4　配水量 78
5　配水量分析 80
6　漏水防止 84
(1)　漏水防止総括 84
(2)　漏水修理件数 84
7　断減水の状況 85

8　水質試験成績表 86
〈参考〉 放射性物質の測定結果 90
(ｸﾞﾗﾌ) 月別配水量の推移 91
(ｸﾞﾗﾌ) 配水量分析 91

Ⅵ 営　　業 93

1　給水普及の状況 95
2　口径別給水件数・有収水量 96
3　月別・口径別有収水量 98
4　メーター検針 100
5　業務委託の状況 102
6　窓口受付事務取扱件数 104
7　徴収の方法 105
8　調定件数と収入件数 106
9　滞納整理の状況 106
10　調定の状況 107
(1)　基本料金 108
(2)　水量料金 110
(3)　給水加入金 112
11　給水加入金の推移 113
12　水道料金の推移 114
(ｸﾞﾗﾌ) 口径別給水件数及び有収水量 118
(ｸﾞﾗﾌ) 水道料金の推移 118
〈参考〉 水道料金コンビニエンスストア収納関係 119
(1)　収納月別件数 119
(2)　収納時間別件数 119
(ｸﾞﾗﾌ) 水道料金コンビニエンスストア収納月別件数 120
(ｸﾞﾗﾌ) 水道料金コンビニエンスストア収納時間別件数 120

Ⅶ メーター・給水装置工事・修繕工事 121

1　メーターの状況 123
(1)　メーターの設置及び取替 123
(2)　メーター貸付個数 123
(3)　満期メーター取替委託 124
2　給水装置工事の状況 125
(1)　給水装置工事 125
(2)　指定給水装置工事事業者調 125
(3)　給水装置工事主任技術者調 125
3　修繕工事の状況 126
(1)　給水装置修繕工事 126
(2)　配水施設等修繕工事 128
(ｸﾞﾗﾌ) 給水装置修繕工事の状況 130
(ｸﾞﾗﾌ) 配水施設等修繕工事の状況 130

Ⅶ 財　　政 …… 131
1　収益的収支 …… 133
2　資本的収支 …… 134
3　水量１㎥当たり給水原価・供給単価比較 …… 135
4　貸借対照表 …… 136
5　人件費に関する調 …… 138
6　経営分析表 …… 140
(1)　資産及び資本に関する比率 …… 140
(2)　回転率 …… 142
(3)　損益に関する比率 …… 144
(4)　経営指標 …… 146
(ｸﾞﾗﾌ)　給水原価に占める性質別費用の割合 …… 150
(ｸﾞﾗﾌ)　経営分析表 …… 150

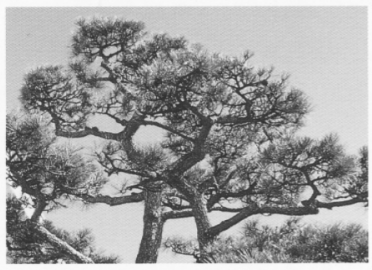
Ⅸ 広　　報 …… 151
1　広報実績 …… 153
2　主なる広報の掲載内容 …… 154
〈参考〉　平成23年度発行　水道局広報紙「すいどういわき」 …… 156

Ⅹ 参　　考 …… 157
1　水道事業ガイドラインにおける業務指標（PI） …… 159
2　気象観測データ …… 166
(1)　地区別・月別気象状況 …… 166
(ｸﾞﾗﾌ)　月別気象状況と配水量 …… 166
(2)　月別降水量の推移 …… 167
(ｸﾞﾗﾌ)　月別降水量の推移 …… 168
(ｸﾞﾗﾌ)　年間降水量の推移 …… 168
3　水道基本用語解説 …… 169

Ⅰ　事業の沿革と推移

１　いわき市の概況（Ｐ３）
２　水道事業の沿革（Ｐ３）
(1)　合併当時の水道事業（Ｐ３）
(2)　いわき市上水道の創設事業（Ｐ４）
(3)　専用水道統合事業（Ｐ５）
(4)　いわき市上水道第一期拡張事業（Ｐ６）
(5)　いわき市上水道第二期拡張事業（Ｐ７）
(6)　いわき市上水道第三期拡張事業（Ｐ７）
(7)　いわき市上水道第三期拡張事業軽微変更（Ｐ８）
〈参考〉水道事業認可一覧（Ｐ９）
３　水道事業の推移（Ｐ10）
(ｸﾞﾗﾌ)　人口及び水量の推移（Ｐ14）
(付)　いわき市水道事業概況図（Ｐ15）

市の木　くろまつ（昭和46年10月1日制定）



市制施行5周年を記念して制定されました。
当地方の気候は、松の育ちに適しており、海岸線・浜街道の松並木はひろく知られています。
松は百木の長といわれ、成長力が強く、本市の発展を象徴しています。

いわきの水道のあゆみ

大正10年	平町で給水を始める
昭和８年	湯本町で給水を始める
昭和11年	江名町で給水を始める
昭和12年	四倉町で給水を始める
昭和17年	小名浜町で給水を始める
昭和28年	内郷町で給水を始める
昭和29年	勿来町で給水を始める
昭和41年	小川町で給水を始める
〃	いわき市（いわき市水道部）誕生
昭和44年	事業認可
昭和47年	水道施設の統合工事完成
〃	第一期拡張事業着手
昭和48年	水道部を水道局に変更
昭和49年	平浄水場完成
昭和51年	栗木作地滑り災害（10/19）
〃	上遠野簡易水道拡張統合工事完成
昭和52年	田人簡易水道拡張工事完成
〃	山玉浄水場完成
昭和53年	第一次配水管整備事業着手
昭和54年	水道局本庁舎完成
昭和57年	第二期拡張事業着手
昭和58年	四時ダム完成
昭和60年	非常用地下貯水槽設置
昭和61年	「いわきの清流10選」選定
〃	第二次配水管整備事業着手
〃	公共下水道使用料及び地域汚水処理施設使用料同時徴収事務開始
昭和62年	上野原浄水場拡張工事完成
平成３年	第三次配水管整備事業着手
平成４年	第三期拡張事業着手
〃	水道料金収納事務自動化
〃	「いわき市水道水源保護条例」制定
平成５年	遠野簡易水道統合事業着手
〃	薬王寺簡易水道（袖玉山民営簡易水道含む）上水道への統合
平成８年	北茨城市と相互応援協定締結
平成９年	平浄水場拡張工事完成
〃	常磐地内土砂流出災害（５/25）
〃	小玉ダム完成
平成10年	コンビニエンスストア料金収納開始（６/１）
〃	常磐配水池代替施設完成
〃	遠野簡易水道統合事業完成
平成11年	志座配水場完成
平成12年	財務会計システム稼動開始
平成15年	第四次配水管整備事業着手
平成16年	コンビニエンスストア料金収納拡大（８/１）
〃	福岡簡易水道上水道統合事業着手
平成17年	福岡簡易水道上水道統合事業完成
平成18年	第三期拡張事業軽微変更申請
平成19年	５営業所廃止、２工事事務所新設
〃	佐倉簡易水道上水道統合事業着手
平成20年	佐倉簡易水道上水道統合事業完成

Ⅰ　事業の沿革と推移

1　いわき市の概況

本県（福島県）の地勢は、奥羽山脈西側の会津地方と阿武隈川流域の中通り地方、太平洋岸の浜通り地方の３つに分かれており、本市はこの浜通り地方の最南端にある。気候は海洋性気候のため温暖で、年間平均気温13.2℃程度にあり、降雪もほとんどなく雨量は年間降水量1,628.8㎜ と県内では比較的豊富なほうで、多目的ダムや工業用水に利用している鮫川、県立公園の夏井川など11水系64の二級河川がある。

本市は、昭和41年10月１日、14市町村の合併により発足した広域都市で、東西39.0㎞、南北51.5㎞、面積は1,231.35k㎡あり、南は茨城県との県境に接し、常磐自動車道・ＪＲ常磐線・国道６号で関東地方に通じ、経済・文化両面で関東地方の影響を大きく受けている。

（合併市町村）

平市、磐城市、勿来市、常磐市、内郷市、石城郡四倉町、遠野町、小川町、三和村、好間村、川前村、田人村、双葉郡久之浜町、大久村の５市４町５村。

2　水道事業の沿革

(1)　合併当時の水道事業

昭和41年10月１日、いわき市発足に伴い旧市町村から引き継がれた水道は、大正６年３月に創設された平上水道をはじめとし、合併直前に磐城上水道からの分水により新設された鹿島簡易水道を含め上水道９事業、簡易水道19事業の計28事業があり、総配水能力は93,546㎥／日、給水人口 242,590人であったが、昭和44年２月に施設統合認可を得るまでの間それぞれ独立した事業として運営されてきた。

うち旧平市、旧磐城市においては、合併前からそれぞれ拡張工事計画に着手しており（平上水道第四次拡張事業＝計画給水人口82,000人、計画１日最大給水量32,800㎥／日、昭和43年度～昭和45年度：磐城上水道第四次拡張事業＝計画給水人口68,000人、計画１日最大給水量25,160㎥／日、昭和43年度～昭和44年度）、これらの事業は新市発足後において引き続き施行することとして、いわき市に引き継がれた。

合併により新市に引き継がれた時点での各事業の規模は、次のとおりである。

（上水道事業）

区　　分	認　可　年　月　日	計画給水人口	計画１日最大配水量
平　　上水道	大正６年３月９日	60,000 人	21,000 ㎥
磐　城　〃	昭和９年７月25日	60,000	22,200
勿　来　〃	昭和24年２月14日	55,000	19,000
常　磐　〃	昭和６年２月26日	39,200	10,200
内　郷　〃	昭和25年12月26日	46,700	8,400
四　倉　〃	昭和11年９月10日	12,000	3,600
久之浜　〃	昭和26年３月12日	6,500	1,950
小　川　〃	昭和38年12月28日	9,000	1,463
好　間　〃	昭和40年12月14日	5,700	1,710
計（９事業）		**294,100**	**89,523**

（簡易水道事業）

区　分	事　業　名	認　可　年　月　日	計画給水人口	計画１日最大配水量
平	平　窪 簡易水道	昭和29年３月20日	800 人	120 ㎥
	赤　井　〃	昭和33年９月26日	3,800	596
	草　野　〃	昭和35年８月30日	5,000	750
勿　来	山　田　〃	昭和29年10月29日	4,000	600
	法　田　〃	昭和36年７月31日	1,600	240
	佐　倉　〃	昭和41年９月30日	110	16.5
常　磐	鹿　島　〃	昭和41年３月19日	730	109
四　倉	山田小湊　〃	昭和30年９月28日	200	30
	白　岩　〃	昭和33年10月23日	210	31
小　川	高　崎　〃	昭和32年９月３日	300	45
	福　岡　〃	昭和35年10月12日	300	45
好　間	北好間　〃	昭和38年10月17日	2,670	426
	上好間　〃	昭和39年６月30日	480	72
遠　野	深山田　〃	昭和30年３月30日	300	45
	上遠野　〃	昭和35年７月14日	2,200	330
	下　滝　〃	昭和38年10月１日	540	81
	根　岸　〃	昭和41年６月６日	600	90
田　人	田　人　〃	昭和32年９月15日	1,100	300
川　前	川　前　〃	昭和38年７月30日	800	210
計（ 19 事業）			**25,740**	**4136.5**

（　合　計　）

区　　分	設置数	計画給水人口	計画１日最大配水量
上 水 道 事 業	9	294,100 人	89,523.0 ㎥
簡 易 水 道 事 業	19	25,740	4,136.5
計	**28**	**319,840**	**93,659.5**

(2)　いわき市上水道の創設事業

昭和41年10月１日のいわき市発足と同時に、合併の申し合わせによる財政経過措置期間が昭和43年度末までの２年６か月にわたり設定されたことにより、新市に引き継がれた上水道及び簡易水道は、同期間中それぞれ旧市町村ごとの区分により独立採算で経営されたが、当時の水道施設の状況は、施設能力が夏季需要期には限界に達し、常時減圧や断水を生じていた地区や水源難のため施設拡張のできない地区等、給水事情の改善が急務であった。

このため、昭和43年度末の財政経過措置期間切れを目前にして、一市一事業の観点にたち、特に遠隔の地に点在する11の簡易水道を除く９上水道・８簡易水道を配水管の接続により廃止統合して有機的な一事業とし、「いわき市上水道事業」としての一元化を図ることとなった。

この「いわき市上水道」の創設事業は、昭和44年２月15日に厚生大臣の認可を得、当初昭和44年度から２か年継続事業で施行された後、継続年期を１年間延長し３か年継続事業により施行、昭和46年度末に完了した。また、本事業の前から施行していた平第四次拡張工事及び磐城第四次拡張工事もこれと並行して施行された。

いわき市上水道の創設事業は、各上水道、簡易水道の水系間を配水管で接続することにより既設能力を最大限に活用して水利の地域別再配分を行い、また、費用の節減、水道料金の統一など事業の合理化を図るもので、事業の基本計画は、各水道ごとに異なる１人１日当たり給水量を地域の実情に応じて調整した結果、次のように設定された。

なお、統合に伴い廃止された事業は、次表に掲げるとおりである。

計画給水人口	277,000 人
目標年次	昭和47年度
１人１日最大給水量	370 ℓ
１日最大給水量	102,490 ㎥
１日平均給水量	88,640 ㎥

いわき市上水道

区　分	統合に伴い廃止された事業	
平	平　上水道	平　窪　簡易水道 赤　井　〃 草　野　〃
磐　城	磐　城　〃	
勿　来	勿　来　〃	山　田　〃 法　田　〃
常　磐	常　磐　〃	鹿　島　〃
内　郷	内　郷　〃	
四　倉	四　倉　〃	
久之浜	久之浜　〃	
小　川	小　川　〃	
好　間	好　間　〃	北好間　〃 上好間　〃
計	**９　上水道**	**８　簡易水道**

(3)　専用水道統合事業

昭和17年10月、古河好間炭鉱専用水道を布設し、以来、炭鉱地区の住宅用水及び鉱業用水の給水を行っていた古河好間炭鉱が昭和45年２月閉山となり、同専用水道が廃止されることとなった。

この専用水道の給水区域は市上水道の給水区域に隣接しており、閉山に際し古河好間炭鉱から市に対し施設の移管について申し入れがあったことから、市は同炭鉱の保有する水利権1,586㎥／日の譲渡を受け、昭和45年９月５日厚生大臣の認可を得てこれを市上水道の給水区域に編入し、閉山炭鉱施設整備事業として国庫補助による整備を行った。

事業の内容は次のとおりである。

計画給水人口	280,000 人	増加　3,000 人
目標年次	昭和47年度	
１人１日最大給水量	367.6 ℓ	増加した計画給水人口3,000 人の １人１日最大給水量は　150 ℓ
１日最大給水量	102,940 ㎥	増加　450 ㎥
１日平均給水量	88,940 ㎥	増加　300 ㎥

(4) いわき市上水道第一期拡張事業

17事業の廃止統合により創設された本市上水道は、水源24か所、浄水場13か所、浄水施設19か所と施設が多く、その態様も多種多様で維持管理が困難なうえ、施設の老朽化、水源水質の悪化等が進み、また、施設統合後も依然として給水能力が需要に対し不足し、地域的な需給調整が困難であるなど拡張工事の必要に迫られていた。

他方、施設拡張を前提としての水道水源の確保については、合併前から様々な努力が重ねられてきたが、国の農業施策が転用促進に転換したことでかんがい用水と水利の調整が急展開し、また、県営四時ダムが多目的ダムとしての実施計画に入ったことなどから、その確保の見通しがついた。

これにより、将来における都市基盤整備のための拡張工事を併せて施行する計画を立て、その水源を夏井川表流水36,000㎥／日、四時川表流水19,200㎥／日、四時ダム35,200㎥／日（計90,400㎥／日）に求め、既設施設の改修を併せ94,400㎥／日の施設の新規拡張を図るため、昭和47年３月29日に厚生大臣の認可を得、昭和47年４月、事業に着手した。

その後、四時ダムのダム型式変更により35,200㎥／日が15,000㎥／日に減ったことから減水量20,200㎥／日の代替水源を法田第２ポンプ場（浅井戸）20,000㎥／日に求めることとして全体計画を見直し、昭和52年11月26日厚生大臣の変更認可を得て、昭和47年度から昭和58年度までの12か年継続事業とした。

事業の内容は、夏井川水系において平浄水場40,000㎥／日、鮫川水系四時川において山玉浄水場45,000㎥／日、法田第２ポンプ場20,000㎥／日、計105,000㎥／日の浄水施設を拡張し、取水量低下のため改造が迫られていた鎌田山浄水場(人工伏流水取水方式)15,000㎥／日を平浄水場に廃止統合、同一水系を集結して将来の維持管理体制の強化を図るため、鮫川水系を水源とする塙浄水場3,000㎥／日と志座浄水場3,600㎥／日を泉浄水場に廃止統合するほか、４か所の小規模施設を廃止統合するものである。

この浄水施設の築造に伴い、勿来配水池（容量 8,000㎥）外３か所の基幹配水池を築造するほか、特に給水区域が広大なため、調整の役割をなす大剣配水池（容量 4,000㎥）外６か所を築造、計34,851㎥の容量を増加し、また配水管網は、配水池を起点として、内径 800㎜以下補助管75㎜まで延長 173,197ｍを布設し、市内一円に給水を図るものである。

なお、本工事は昭和56年度で打ち切り、一部残工事を第二期拡張事業に引き継いだ。

計画給水人口	350,000 人
目標年次	昭和60年度
１人１日最大給水量	526 ℓ
１日最大給水量	184,000 ㎥
１日平均給水量	153,300 ㎥

(5) いわき市上水道第二期拡張事業

本事業は、常磐炭砿専用水道の廃止統合に伴い譲り受けた水利権29,824㎥／日（鮫川水系17,815㎥／日、夏井川水系12,009㎥／日）、四時地区農業用水合理化対策事業への参加により確保した上水道用水11,900㎥／日など、新たな水源をもとに既認可全体計画の見直しを行い、将来の水需要に対処するものである。

平成２年度を目標に、基幹３浄水場（平、山玉、上野原）を増設・拡張するとともに、高坂、上好間などの小規模浄水場を廃止統合して水処理の効率化を促進し、併せて上水道に隣接する水源水量不足の大利、高崎簡易水道を上水道に廃止統合して水道事業の有機的な運営を図るため、昭和57年１月12日厚生大臣の変更認可を得、第一期拡張事業の残工事を引き継ぎ、昭和57年度から９か年継続事業で進めていたが、その後、給水人口、給水量の伸びが微増傾向にあることから事業実施面で水需要の実態に即した事業計画が求められ、昭和61年度において、目標年度を平成７年度に延長し、14か年の継続事業に変更した。

その後、さらに新たな見直しが必要となり、本工事は平成３年度で打ち切り、一部残工事を第三期拡張事業に引き継いだ。

計画給水人口	374,000 人
目標年次	平成７年度
１人１日最大給水量	576 ℓ
１日最大給水量	215,260 ㎥
１日平均給水量	164,661 ㎥

(6) いわき市上水道第三期拡張事業

本事業は、第二期拡張事業の認可取得後、昭和63年に常磐自動車道が開通し、首都圏との時間的距離が短縮され企業立地やリゾート開発等が進み、また、生活環境等も変化してきたことから、給水区域の拡張、給水量の増加、水源の種別及び取水地点の変更を行い、将来の水需要に対処するものである。

平成18年度を目標に、平浄水場、山玉浄水場等の拡張を行い、藤原浄水場、福岡浄水場などの小規模浄水場を廃止して効率化を促進するとともに、上水道に隣接する薬王寺、福岡、袖玉山（民営）簡易水道を上水道に廃止統合して水道事業の有機的な運営を図り、併せて給水区域を拡張し高野、瀬戸地区の未給水解消を行い、また、施設基準の変更に伴う配水池の新設、増設を行うものである。

事業内容は次のとおり。

認可年月日	平成４年３月31日
計画給水人口	374,000 人
目標年次	平成18年度
１人１日最大給水量	619 ℓ
１日最大給水量	231,610 ㎥
１日平均給水量	185,798 ㎥
計画給水区域面積	445.80 ㎢

(7) いわき市上水道第三期拡張事業軽微変更

第三期拡張事業は、施設拡張から安定給水の確保に重点を置き、事業を実施しているが、以前より、給水区域内の未給水地区から給水要望があった佐倉簡易水道事業の上水道事業への統合に伴い、給水区域が拡張されることから、平成13年度の水道法の一部改正を受け、本事業に係る給水区域の拡張のみの「軽微変更」として事業内容を変更するものである。

また、平成４年３月の認可取得から15年を経過し、人口減少等により給水量に係る計画値と実績値の乖離が進んでおり、計画値を実態に即したものとすること、代替施設が整備され、休止状況にある小規模浄水場及び水利権を廃止する必要があることから、軽微変更の条件には該当しないものの、上水道事業の給水区域の拡張と併せて変更を行うものである。

変更内容は次のとおり。

ア　計画諸元

受理年月日	平成19年３月28日
計画給水区域内人口	338,631 人
計画給水人口	338,000 人
目標年次	平成33年度
１人１日最大給水量	488 ℓ
１日最大給水量	165,000 ㎥
１日平均給水量	132,696 ㎥
計画給水区域面積	447.96 ㎢

イ　浄水場の廃止

栗木作浄水場	浄水能力	2,900㎥/日
川平浄水場	浄水能力	2,000㎥/日

ウ　水利権の廃止

仁井田川（2,937㎥/日）：栗木作浄水場水利権
新　　川（4,800㎥/日）：川平浄水場水利権
好 間 川（1,556㎥/日）：上野原浄水場水利権の一部
釜 戸 川（2,000㎥/日）：泉浄水場水利権の一部

〈参 考〉

水道事業認可一覧

区　　分	創　　設	専用水道統合	第一期拡張	第二期拡張	第三期拡張
認可年月日	昭 44. 2. 15	昭 45. 9. 5	昭 47. 3.29	昭 57. 1.12	平 4. 3.31
			昭 52.11.26		平 19. 3.28
認可番号	厚生省環第93号	厚生省環第 599号	厚生省環第 226号	厚生省環第12号	厚生省生衛第417号
			厚生省環第 704号		
目標年次	昭和47年度	昭和47年度	昭和60年度	平成７年度	平成18年度
					平成33年度
計画給水区域内人口	271,603人	314,000人	364,600人	376,423人	375,091人
					338,631人
計画給水人口	277,000人	280,000人	350,000人	374,000人	374,000人
					338,000人
計画１人１日最大給水量	370ℓ	367.6ℓ	526ℓ	576ℓ	619ℓ
					488ℓ
計画１日最大給水量	102,490㎥	102,940㎥	184,000㎥	215,260㎥	231,610㎥
					165,000㎥
起工年月日	昭 44. 4. 1	昭 45. 4. 1	昭 47. 4. 1	昭 57. 4. 1	平 4. 4. 1
竣工年月日	昭 47. 3.31	昭 46. 3.31	昭 54. 3.31	平 4. 3.31	平34. 3.31（予定）
			昭 57. 3.31		
事業費	356,121千円	14,917千円	14,388,000千円	13,656,000千円	41,953,045千円（認可計画事業費）
計画給水区域面積	343.56k㎡	344.06k㎡	363.86k㎡	366.44k㎡	445.80k㎡
			364.10k㎡		447.96k㎡

※　第三期拡張の上段は当初認可値、下段は軽微変更届出値。

3　水道事業の推移

区　分		23　年　度			22　年　度		
		上水道事業	簡易水道事業	合　計	上水道事業	簡易水道事業	合　計
行政区域内人口（人）A		－	－	330,876	－	－	339,277
給水区域内人口（人）B		316,877	5,070	321,947	324,890	5,173	330,063
給水人口（人）C		316,245	4,665	320,910	324,185	4,756	328,941
普及率（%）	C／A	－	－	96.99	－	－	96.95
	C／B	99.80	92.01	99.68	99.78	91.94	99.66
給水戸数（戸）		122,120	1,555	123,675	123,303	1,536	124,839
給水件数（件）		136,065	1,793	137,858	132,611	1,825	134,436
導水管延長（m）		15,687	1,013	16,700	15,687	1,013	16,700
送水管延長（m）		18,691	3,306	21,997	18,673	3,306	21,979
配水管延長（m）		2,101,056	64,168	2,165,224	2,099,089	64,134	2,163,223
施設能力（㎥／日）		208,210	3,135	211,345	208,210	3,135	211,345
年間総配水量（㎥）		45,744,607	587,644	46,332,251	43,061,475	576,459	43,637,934
1日最大配水量（㎥）		151,888	2,484	154,172	155,783	2,307	158,090
1日平均配水量（㎥）		124,985	1,606	126,591	117,977	1,579	119,556
1人1日最大配水量（ℓ）		480	344	480	481	485	478
1人1日平均配水量（ℓ）		395	532	394	364	332	363
年間有効水量（㎥）		35,796,128	464,624	36,260,752	39,481,114	501,972	39,983,086
有効率（%）		78.25	79.07	78.26	91.69	87.08	91.62
年間有収水量（㎥）		34,706,017	446,998	35,153,015	38,301,820	488,844	38,790,664
有収率（%）		75.87	76.07	75.87	88.95	84.80	88.89
給水収益（千円）		7,350,487	89,637	7,440,124	8,343,260	102,545	8,445,805
総収益（千円）		8,280,337	235,085	8,515,422	8,694,294	237,860	8,932,154
総費用（千円）		7,872,642	293,039	8,165,681	7,086,563	254,877	7,341,440
損益（千円）		407,694	△ 57,954	349,740	1,607,731	△ 17,097	1,590,634
供給単価（円）		211.79	200.53	211.65	217.83	209.77	217.73
給水原価（円）		201.10	613.96	206.35	178.21	521.39	182.53

※　1日最大配水量は全体での最大日と上水道及び簡易水道それぞれの最大日が異なることがあるため、合計の内数とはならない。

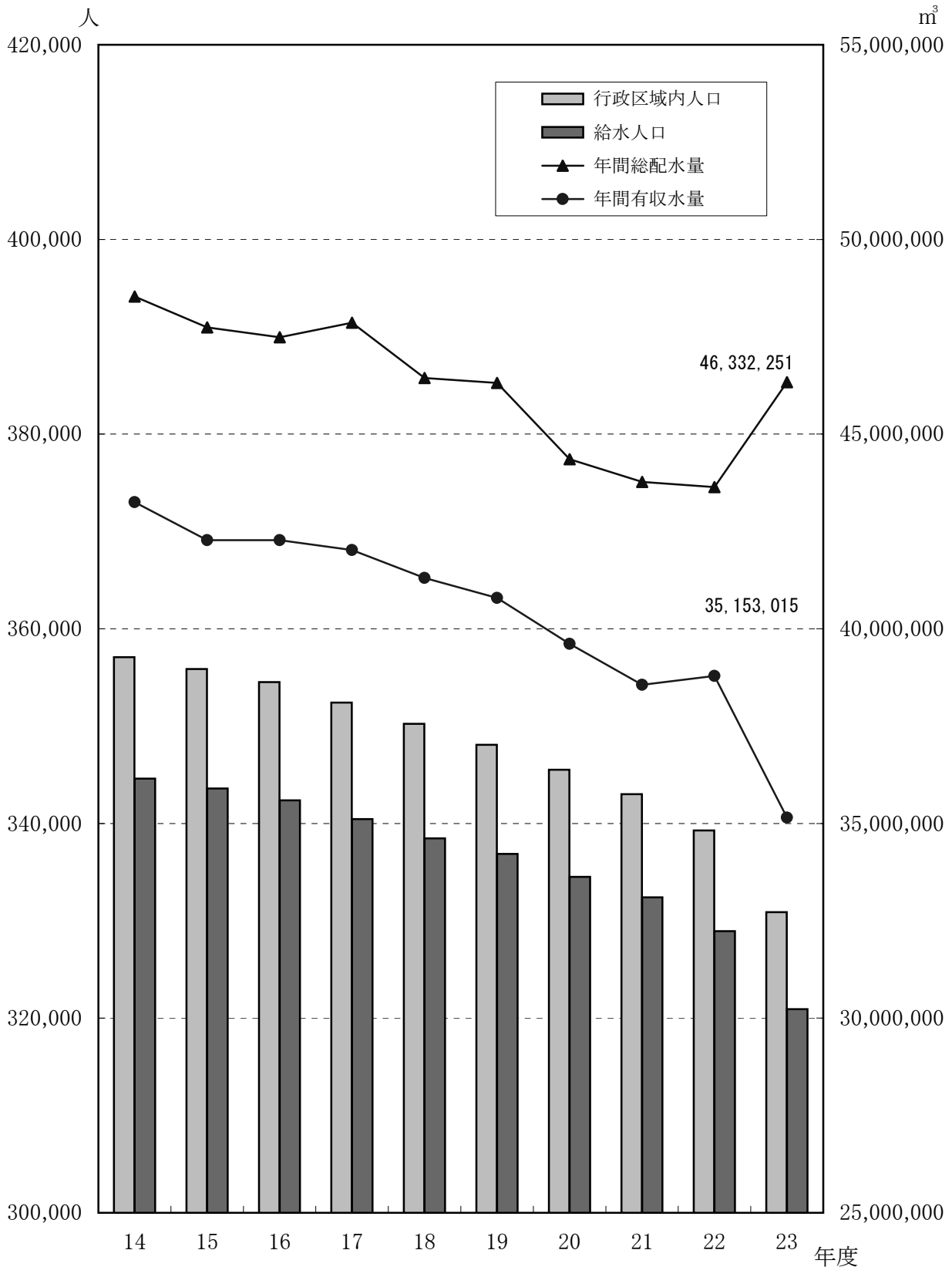
21 年 度			20 年 度			19 年 度		
上水道事業	簡易水道事業	合 計	上水道事業	簡易水道事業	合 計	上水道事業	簡易水道事業	合 計
－	－	343,008	－	－	345,516	－	－	348,093
328,372	5,217	333,589	330,412	5,376	335,788	332,744	5,458	338,202
327,593	4,809	332,402	329,600	4,912	334,512	331,895	4,970	336,865
－	－	96.91	－	－	96.82	－	－	96.77
99.76	92.18	99.64	99.75	91.37	99.62	99.74	91.06	99.60
128,148	1,559	129,707	127,102	1,564	128,666	125,983	1,555	127,538
132,119	1,836	133,955	131,749	1,839	133,588	131,863	1,842	133,705
15,687	986	16,673	15,687	1,136	16,823	15,687	1,136	16,823
18,673	3,306	21,979	18,673	3,306	21,979	18,673	3,306	21,979
2,088,594	64,065	2,152,659	2,074,309	62,777	2,137,086	2,061,997	63,447	2,125,444
208,210	3,135	211,345	208,210	3,151.5	211,361.5	208,210	3,151.5	211,361.5
43,187,611	582,411	43,770,022	43,767,963	589,535	44,357,498	45,699,985	616,077	46,316,062
137,554	1,994	139,371	141,384	1,994	143,331	149,311	2,296	151,384
118,322	1,596	119,918	119,912	1,615	121,527	124,863	1,683	126,546
420	415	419	429	406	428	450	462	449
361	332	361	364	329	363	376	339	376
39,246,099	501,668	39,747,767	40,224,862	514,966	40,739,828	41,502,747	527,103	42,029,850
90.87	86.14	90.81	91.90	87.35	91.84	90.82	85.56	90.75
38,068,846	489,560	38,558,406	39,111,715	500,915	39,612,630	40,276,637	515,058	40,791,695
88.15	84.06	88.09	89.36	84.97	89.30	88.13	83.60	88.07
8,297,859	102,766	8,400,625	8,533,298	105,386	8,638,684	8,768,867	108,080	8,876,947
8,667,326	238,381	8,905,707	8,913,296	265,205	9,178,501	9,346,874	287,579	9,634,453
6,896,488	260,625	7,157,113	7,187,444	287,266	7,474,710	7,553,145	308,971	7,862,116
1,770,838	△ 22,244	1,748,594	1,725,852	△ 22,061	1,703,791	1,793,729	△ 21,392	1,772,337
217.97	209.91	217.87	218.18	210.39	218.08	217.72	209.84	217.62
180.55	532.09	185.01	183.27	572.95	188.20	186.41	599.39	191.62

（税抜）

区　分		18　年　度			17　年　度		
		上水道事業	簡易水道事業	合　計	上水道事業	簡易水道事業	合　計
行政区域内人口	（人）A	－	－	350,235	－	－	352,417
給水区域内人口	（人）B	334,499	5,201	339,700	336,044	5,696	341,740
給水人口	（人）C	333,712	4,756	338,468	335,202	5,243	340,445
普及率（％）	C／A	－	－	96.64	－	－	96.60
	C／B	99.76	91.44	99.64	99.75	92.05	99.62
給水戸数	（戸）	124,811	1,447	126,258	123,602	1,585	125,187
給水件数	（件）	131,536	1,837	133,373	130,545	1,848	132,393
導水管延長	（m）	15,687	1,136	16,823	15,786	1,136	16,922
送水管延長	（m）	18,673	3,306	21,979	18,663	3,306	21,969
配水管延長	（m）	2,049,989	62,719	2,112,708	2,033,824	64,536	2,098,360
施設能力	（㎥／日）	213,110	3,151.5	216,261.5	213,110	3,196.5	216,306.5
年間総配水量	（㎥）	45,823,352	620,411	46,443,763	47,185,723	674,046	47,859,769
1日最大配水量	（㎥）	145,312	2,143	147,121	151,363	2,263	153,626
1日平均配水量	（㎥）	125,543	1,700	127,243	129,276	1,847	131,123
1人1日最大配水量	（ℓ）	435	451	435	452	432	451
1人1日平均配水量	（ℓ）	376	357	376	386	352	385
年間有効水量	（㎥）	41,892,470	556,598	42,449,068	42,847,601	575,443	43,423,044
有効率	（%）	91.42	89.71	91.40	90.81	85.37	90.73
年間有収水量	（㎥）	40,766,606	542,084	41,308,690	41,457,737	561,532	42,019,269
有収率	（%）	88.96	87.38	88.94	87.86	83.31	87.80
給水収益	（千円）	8,061,154	103,752	8,164,906	8,183,726	106,955	8,290,681
総収益	（千円）	8,566,773	295,846	8,862,619	8,643,684	295,252	8,938,936
総費用	（千円）	7,695,841	337,672	8,033,513	7,565,298	335,370	7,900,668
損益	（千円）	870,932	△ 41,826	829,106	1,078,386	△ 40,118	1,038,268
供給単価	（円）	197.74	191.39	197.66	197.40	190.47	197.31
給水原価	（円）	188.22	622.03	193.91	181.85	596.85	187.40

16 年 度			15 年 度			14 年 度		
上水道事業	簡易水道事業	合 計	上水道事業	簡易水道事業	合 計	上水道事業	簡易水道事業	合 計
—	—	354,520	—	—	355,855	—	—	357,087
337,883	5,839	343,722	338,913	5,926	344,839	339,901	5,987	345,888
336,985	5,378	342,363	337,985	5,605	343,590	338,957	5,656	344,613
—	—	96.57	—	—	96.55	—	—	96.51
99.73	92.10	99.60	99.73	94.58	99.64	99.72	94.47	99.63
124,041	1,592	125,633	122,694	1,612	124,306	121,492	1,604	123,096
130,603	1,872	132,475	129,878	1,873	131,751	129,190	1,870	131,060
15,687	1,136	16,823	16,623	1,136	17,759	15,988	923	16,911
18,607	3,805	22,412	18,138	3,805	21,943	19,718	3,718	23,436
2,028,155	64,777	2,092,932	2,001,772	64,657	2,066,429	1,975,007	64,746	2,039,753
213,110	3,196.5	216,306.5	213,110	3,196.5	216,306.5	213,110	3,196.5	216,306.5
46,833,016	655,316	47,488,332	47,108,347	631,186	47,739,533	47,879,599	653,183	48,532,782
151,071	2,213	153,142	149,581	2,232	151,597	158,537	2,302	160,797
128,310	1,795	130,105	128,711	1,725	130,436	131,177	1,790	132,967
448	411	447	443	398	441	468	407	467
381	334	380	381	308	380	387	316	386
42,846,467	569,161	43,415,628	42,900,823	557,878	43,458,701	43,716,494	571,965	44,288,459
91.49	86.85	91.42	91.07	88.39	91.03	91.31	87.57	91.25
41,720,047	557,883	42,277,930	41,732,045	546,447	42,278,492	42,692,325	560,609	43,252,934
89.08	85.13	89.03	88.59	86.57	88.56	89.17	85.83	89.12
8,224,669	106,237	8,330,906	8,228,769	103,903	8,332,672	8,401,447	106,327	8,507,774
8,854,405	283,543	9,137,948	8,802,682	282,678	9,085,360	8,942,089	286,450	9,228,539
7,891,381	318,264	8,209,645	7,984,448	335,756	8,320,204	8,260,139	328,163	8,588,302
963,024	△ 34,721	928,303	818,234	△ 53,078	765,156	681,950	△ 41,713	640,237
197.14	190.43	197.05	197.18	190.14	197.09	196.79	189.66	196.70
187.63	569.67	192.68	190.38	614.39	195.86	192.91	585.27	198.00

人口及び水量の推移



※　数値は、上水道及び簡易水道の合計値である。

いわき市水道事業概況図

川前簡易水道
川前浄水場
金ヶ沢配水池
久之浜浄水場
久之浜配水池
福岡配水池
福岡ポンプ場
小川配水池
小川浄水場
下タ道配水池
駒込第一調整池
四倉配水池
栗木作配水池
四倉ポンプ場
四倉小学校
薬王寺ポンプ場
上野原＋平水系
平水系
大利調整池
好間1・2号配水池
大利ポンプ場
椎木平配水池
北好間ポンプ場
好間工業団地ポンプ場
好間ポンプ場
上野原浄水場
好間第一小学校
平浄水場
石森配水池
上片寄ポンプ場
上片寄配水池
下平窪第一公園
石森ポンプ場
平配水池
平第二小学校
八幡小路配水池
鎌田山配水池
市立平体育館
平一丁目公園
菱川町公園
南白土ポンプ場
南白土配水池
平成配水池
鞍掛下ポンプ場
先達配水池
高野配水池
上野原水系
上野原配水池
田代配水池
峰根ポンプ場
宮沢市営住宅
馬場児童公園
川平浄水場
川平配水池
桜田公園
川平ポンプ場
入遠野浄水場
遠野簡易水道
鷹ノ巣浄水場
深山田浄水場
入遠野配水池
白坂配水池
瀬沢配水池
草木台配水池
傾城配水池
浅貝配水池
三函街内
竜ヶ沢ポンプ場
湯台堂配水池
中央台ポンプ場
原前ポンプ場
上遠野配水池
松ヶ台配水池
上湯長谷公園
常磐市民会館
四倉ポンプ場
釜戸調整池
湯長谷配水池
鹿島工業団地配水池
鹿島台ポンプ場
中央台高区・低区配水池
根岸浄水場
上遠野浄水場
志座配水場
鹿島工業団地ポンプ場
鹿島台配水池
玉川配水池
山玉＋法田第2＋泉水系
泉水系
田人簡易水道
大沢配水池
江名小学校
金戸第1ポンプ場
泉ヶ丘高区・低区配水池
洋向台配水池
山玉＋法田第2水系
黒田配水池
中部工業団地配水池
ときわ台配水池
湘南台配水池
洋向台ポンプ場
旅人浄水場
泉ヶ丘ポンプ場
泉配水池
小名浜配水池
中部工業団地ポンプ場
槇町公園
泉西公園
小名浜市民会館
法田第2水系
泉浄水場
神白配水池
法田第1水系
神白ポンプ場
法田高架タンク
高倉配水池
法田配水池
金山配水池
菖蒲沢配水場
大剣配水池
法田第1・第2ポンプ場
植田第二公園
山玉浄水場
錦中学校
大高調整池
勿来配水池
勿来第一中学校
四沢調整池
勿来第二小学校
山玉＋法田第2水系

凡　例

- 基幹浄水場
- 小規模浄水場
- 基幹配水池
- 配水池
- ポンプ場
- 非常用貯水槽
- 給水区域(上水道)
- 給水区域(簡易水道)
- 幹線
- 配水管
- 導水路